

専門演習 I (韓国) (通年・4単位)

しん みんじく
申 明直

授業内容(主題と到達目標)

本専門演習(ゼミ)の主題は、4年次での専門的学習・就職活動や卒業後の社会人としての生活を見すえて、(1)読む力、(2)調べる力、(3)発信する力、を1年間かけて向上させていくことである。

(1)読む力(読解能力)とは、本などをしっかりと読むことが出来るである。これが出来なければ卒業論文などの課題をこなすことはできないし、会社でも必要な知識を習得することが出来ない。

(2)調べる力(情報収集能力)とは、情報を効率的に収集し上手に整理していく力のことである。現在はインターネットで瞬時にして大量の情報を得ることが出来るが、良質な情報を得るといふ点では必ずしも十分ではない。デジタル情報の長所と短所を理解したうえで、図書館などをうまく利用して自分の足で必要な情報を得ることが出来るようにしていきたい。

(3)発信する力(プレゼン能力)とは、本や資料を読んだり、情報を収集・整理したりして得られた結論やアイデアを、他の人に効果的に発信する力のことである。これは大学生活はもちろん社会人生活においても最も必要な能力であり、1年間を通じて研究発表は討論、課題レポートなどを経験することによって着実に身につけていって欲しい。

授 業 計 画

専門演習(ゼミ)とは個別の課題や対象について、自らの力で調べ適切な方法で分析する事によって、自分自身の結論や考えをまとめ上げる、という一連の能力を学生に習得してもらうことを目的としている。その意味で、大学教育において最も「大切な」授業科目といえるだろう。

そのため2年次までの講義科目や語学科目とは異なり、まずそれぞれの所属学生に自発的かつ能動的に勉強(研究・調査など)に取り組んでもらい、その過程や結論に対して教員が適宜指導やアドバイスを行うという形式で進められる。ただし、3年次当初の時期は演習(ゼミ)に触れる最初の段階であることから、初めに本の読み方など勉強するための基本的知識を身につけてもらう。続いて図書館などを利用した文献調査の方法、レポートの書き方、レジュメの作成、研究発表の練習などを随時行うことによって、「読む力」「調べる力」「発信する力」を総合的に養成していく計画である。

具体的には、韓国小説・映画シナリオなどの文学作品を、幾つかのテーマに分けて分析する。例えば、(1)韓国伝統文化:「春香伝」・「風の絵師」・「王の男」等、(2)南北分断と友愛:「JSA」・「トンマッコルへようこそ」・「シュリ」等、(3)女性・ジェンダー:「猟奇的な彼女」・「カンナさん大成功です」・「私の名前はキムサムスン」等、(4)アクションロマン:「甘い人生」・「友へ」・「映画は映画だ」等、(5)ラブロマン:「8月のクリスマス」・「ラブストーリー」・「私の頭の中の消しゴム」等、(6)マイノリティ:「オアシス」・「パイラン」・「ダンサーの純情」等、(7)現代史・社会:「われらの歪んだ英雄」・「グエムル」・「なつかしの庭」等がある。

授業では、まずテーマに係わる作品についての簡単な説明を行う。その後、テーマと作品を選んで、作品についての時代背景・人物のキャラクター・表現方法の分析、小説・戯曲と映画との比較等を行う。分析した結果は小論文でまとめて発表を行う。

関 連 す る 科 目

韓国文学概論 I・II、韓国現代文学講読 I・II、専門演習 II

成 績 評 定 の 方 法

毎回出席することを原則とする。各学期で無断欠席3回以上や過度な遅刻など、初回に提示するゼミの基準に従わない場合は、単位を認定しないので十分な注意を要する。最終的には、発表、レポート、出席、小テストなどを総合的に判断して成績評定を行う。

テ キ ス ト

販 売 所

- ①『韓国文学ノート』(申明直 他、白帝社、2008年)、②『歴史を知ればもっと 丸善プラザ
面白い韓国映画「キューボラのある街」から「王の男」まで』(川西 玲子、ラン
ダムハウス講談社、2006年)、③『韓国映画 この容赦なき人生』(森達也 他、鉄
人社、2011年)、④『ユリイカ』(2010年5月号、韓国映画特集)

参 考 文 献

- ①『現代韓国短篇選(上・下)』(三枝壽勝 編、岩波書店、2002年)、②『韓国文学はどこから来たのか』(李在
銑、白帝社、2005年)、③『菜食主義者』(ハン・ガン、 cuon出版、2011年)、④『韓国映画ベスト100-「JSA」
から「グエムル」まで』(寺脇研、朝日新書、2007)、⑤『風の絵師1・2』(イ・ジョンミョン、早川書房、
2009)、⑥『景福宮の秘密コード(上・下)』(イ・ジョンミョン、河出書房新社、2011)